



## 2022年1月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年3月11日

上場会社名 株式会社 ユークス  
 コード番号 4334 URL <https://www.yukes.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 浜 直樹

TEL 072-224-5155

定時株主総会開催予定日 2022年4月27日

配当支払開始予定日

2022年4月28日

有価証券報告書提出予定日 2022年4月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年1月期の連結業績(2021年2月1日～2022年1月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期	3,632	37.1	695		969		921	
2021年1月期	2,650	32.5	174		329		415	

(注) 包括利益 2022年1月期 937百万円 ( %) 2021年1月期 414百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年1月期	106.46		30.6	16.7	19.2
2021年1月期	48.06		14.7	3.9	6.6

(参考) 持分法投資損益 2022年1月期 百万円 2021年1月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年1月期	4,132	3,471	83.2	397.43
2021年1月期	7,465	2,599	34.7	299.03

(参考) 自己資本 2022年1月期 3,438百万円 2021年1月期 2,586百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年1月期	168	429	4,236	1,971
2021年1月期	281	33	1,434	6,208

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年1月期		0.00		10.00	10.00	86		3.0
2022年1月期		0.00		10.00	10.00	86	9.4	2.9
2023年1月期(予想)		0.00		10.00	10.00		14.5	

### 3. 2023年1月期の連結業績予想(2022年2月1日～2023年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,739	0.7	68	78.9	73	86.6	52	88.5	6.05
通期	5,472	50.7	721	3.7	724	25.2	598	35.0	69.17

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年1月期	11,096,000 株	2021年1月期	11,096,000 株
期末自己株式数	2022年1月期	2,444,943 株	2021年1月期	2,444,907 株
期中平均株式数	2022年1月期	8,651,086 株	2021年1月期	8,651,106 株

(参考)個別業績の概要

2022年1月期の個別業績(2021年2月1日～2022年1月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期	3,235	44.7	599		873		857	
2021年1月期	2,236	31.8	187		305		376	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期	99.13	
2021年1月期	43.56	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2022年1月期	3,265		2,780		84.1		317.59	
2021年1月期	6,768		1,974		29.0		226.86	

(参考) 自己資本 2022年1月期 2,747百万円 2021年1月期 1,962百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	2
(3) 利益配分に関する基本方針および当期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	11
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績に関する分析

当連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられるものの持ち直しの動きが続いています。世界経済におきましても、新型コロナウイルス感染症による影響が緩和される中で、持ち直してきております。しかし、ロシアがウクライナへ侵攻したことにより、市場への影響を注視する必要がある状況です。

当社グループに関連するエンタテインメント業界におきましては、新型コロナウイルス感染症による「巣ごもり需要」の影響もあり、ソニー・インタラクティブエンタテインメントのプレイステーション5をはじめ好調ぶりが伝えられています。また、インターネット上の仮想空間であるメタバースにも注目が集まっています。

そのような環境のもと、当社グループの受託ソフトにおきましては、新進気鋭の米国プロレス団体である「A11 Elite Wrestling」（略称「AEW」）から受託した、同団体をモデルとしたプロレスゲームの開発が引き続き順調に進行しております。また、2021年5月27日にはアクションゲーム「ま〜るい地球が四角くなった!? デジボク地球防衛軍 EARTH DEFENSE FORCE: WORLD BROTHERS」のSTEAM版が株式会社ディースリー・パブリッシャーから発売され、2021年9月9日に「テイルズ オブ」シリーズの最新作「Tales of ARISE」（プレイステーション5・Xbox Series X|S版）が株式会社バンダイナムコエンターテインメントから発売されました。また、株式会社アニプレックスから発売のアクションゲーム「鬼滅の刃 ヒノカミ血風譚」の開発協力をいたしました。その他、複数タイトルの受託ソフト開発が順調に進行しております。

パチンコ・パチスロ分野においては、当社公式ブログから生まれ、漫画配信サイトで大人気を博した女子校生プロレス漫画「ロリクラ☆ほーど!」の画像開発が完了し、遊技機メーカー・ネット株式会社よりパチスロ化され、2021年9月6日にパチンコホールに導入されました。その他、複数タイトルのパチンコ・パチスロ分野の画像開発プロジェクトを受託しており開発が順調に進行しております。

自社コンテンツの「AR performers」では、2017年よりWEBでの放送がスタートしたARPラジオ番組「Amazing Radio Performers on the WEB」を継続して配信しているのに加え、2021年10月に東京・愛知・大阪の映画館でFILM LIVE「REMIND Tour 2021」「アニメARP Backstage Pass後夜祭“Celebrate Good Time” -EXTEND-」が開催され、2021年10月27日には新曲「All of You」をリリースしております。

XR事業分野においては、自社オリジナル技術であるAR Live System「ALiS ZERO」は、パーティカルシアターアプリ「smash.」にてスペシャルラジオ番組として配信されている「monaラジ」の制作で利用されました。また、Happy Elements株式会社の人気スマートフォン・ゲーム「あんさんぶるスターズ!!」のバーチャルライブ「あんさんぶるスターズ!! DREAM LIVE -BRAND NEW STARS!!-」全12公演においてメインのCG制作業務を担当し、ライブ開催に寄与しました。また、2021年12月から2022年1月に開催された「ヒプノシスマイク-Division Rap Battle- 3DCG LIVE “HYPED-UP 01”」、2021年12月に開催された「LAWSON presents HoneyWorks Premium Live 2021〜ハニフェス〜」、2022年1月に開催された「プロジェクトセカイ COLORFUL LIVE 1st - Link -」においてもライブCG制作を担当し、それぞれのライブ開催に寄与しました。

パブリッシング事業分野におきましては、DCコミックスのキャラクターをテーマにしたオンライン・トレーディングカードゲーム「DCデュアルフォース」を制作中であり、2022年秋に全世界へ向けて配信・発売する予定です。

その他、モバイルコンテンツ分野も複数のプロジェクト開発が進んでおります。

以上の結果、当連結会計期間の経営成績は、売上高は3,632,485千円（前年同期比37.1%増）となりました。

利益面につきましては、前期において実施しました構造改革が奏功し、営業利益は695,758千円（前年同期は営業損失174,975千円）、為替相場の変動による為替差益の発生等により経常利益は969,012千円（前年同期は経常損失329,125千円）、親会社株主に帰属する当期純利益は921,016千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失415,810千円）となりました。

なお、当社グループはデジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

次期の見通しにつきましては、ゲーム、パチンコ・パチスロ、モバイル各分野におきまして、複数のプロジェクトの開発が進んでおります。

以上の活動を通じて、2023年1月期の連結業績予想につきましては、売上高は5,472百万円、営業利益は721百万円、経常利益は724百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は598百万円を見込んでおります。

### (2) 財政状態に関する分析

#### ①資産、負債および純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3,332,434千円減少し、4,132,952千円となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少4,236,290千円、売掛金の増加365,725千円、無形固定資産の増加403,895千円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して4,204,700千円減少し、661,491千円となりました。主な要因としては、短

期借入金の減少4,150,000千円、未払金の減少41,877千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して872,265千円増加し、3,471,460千円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する当期純利益921,016千円および剰余金の配当86,510千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より4,236,290千円減少し、1,971,786千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、168,902千円（前年同期は281,363千円の使用）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益969,012千円、売上債権の増加額365,725千円、為替差益260,434千円、長期未払金の減少額62,000千円、未払金の減少額41,891千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は429,836千円（前年同期は33,180千円の獲得）となりました。

これは主に、無形固定の取得による支出406,320千円、投資有価証券の取得による支出30,000千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は4,236,851千円（前年同期は1,434,637千円の使用）となりました。

これは主に、短期借入金の減少額4,150,000千円、配当金の支払額86,833千円によるものであります。

(3) 利益配分に関する基本方針および当期の配当

当社は、株主還元を経営の重要課題と認識しております。株主の皆様への利益配分に関しましては、デジタルコンテンツ分野の事業展開と経営体質の強化に必要な内部留保資金の確保を図りつつ、各期の経営成績を勘案し、安定した配当を行っていくことを当面の基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、当社普通株式1株につき普通配当10円とさせていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準の適用に関しましては、今後の国内外の諸情勢を考慮の上、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当連結会計年度 (2022年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,208,076	1,971,786
売掛金	261,368	627,094
商品	4,270	0
仕掛品	298,142	263,228
その他	54,585	143,739
貸倒引当金	△521	△171
流動資産合計	6,825,921	3,005,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	113,167	113,167
減価償却累計額	△91,008	△93,508
建物及び構築物 (純額)	22,158	19,658
土地	2,514	2,514
その他	476,292	477,399
減価償却累計額	△468,379	△472,199
その他 (純額)	7,913	5,199
有形固定資産合計	32,586	27,373
無形固定資産		
ソフトウェア	3,739	1,717
ソフトウェア仮勘定	8,000	413,917
その他	1,242	1,242
無形固定資産合計	12,981	416,877
投資その他の資産		
投資有価証券	288,762	340,917
破産更生債権等	115,500	111,852
繰延税金資産	-	44,221
その他	305,133	297,883
貸倒引当金	△115,500	△111,852
投資その他の資産合計	593,896	683,022
固定資産合計	639,465	1,127,273
資産合計	7,465,387	4,132,952

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当連結会計年度 (2022年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	4,150,000	-
未払金	271,234	229,356
未払法人税等	12,039	126,329
前受金	119,401	99,297
賞与引当金	80,175	77,621
その他	45,342	17,340
流動負債合計	4,678,193	549,944
固定負債		
長期末払金	62,200	200
退職給付に係る負債	108,196	111,097
繰延税金負債	17,352	-
その他	250	250
固定負債合計	187,999	111,547
負債合計	4,866,192	661,491
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	432,218	432,218
利益剰余金	2,441,592	3,276,097
自己株式	△738,320	△738,338
株主資本合計	2,548,392	3,382,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,917	53,783
為替換算調整勘定	△1,367	1,539
その他の包括利益累計額合計	38,549	55,323
新株予約権	12,252	33,257
純資産合計	2,599,194	3,471,460
負債純資産合計	7,465,387	4,132,952

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
売上高	2,650,178	3,632,485
売上原価	2,105,224	2,430,182
売上総利益	544,954	1,202,303
販売費及び一般管理費	719,929	506,544
営業利益又は営業損失(△)	△174,975	695,758
営業外収益		
受取利息	39,431	9,979
受取配当金	1,126	2,065
為替差益	-	261,370
助成金収入	11,740	-
その他	3,890	6,854
営業外収益合計	56,189	280,269
営業外費用		
支払利息	4,344	1,081
為替差損	179,890	-
コミットメントフィー	26,103	5,934
営業外費用合計	210,339	7,016
経常利益又は経常損失(△)	△329,125	969,012
特別利益		
固定資産売却益	744	-
特別利益合計	744	-
特別損失		
構造改革費用	89,610	-
特別損失合計	89,610	-
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△417,991	969,012
法人税、住民税及び事業税	13,483	115,932
法人税等還付税額	△15,663	-
法人税等調整額	-	△67,936
法人税等合計	△2,180	47,995
当期純利益又は当期純損失(△)	△415,810	921,016
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△415,810	921,016



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△415,810	921,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,305	13,865
為替換算調整勘定	△2,749	2,907
その他の包括利益合計	1,555	16,773
包括利益	△414,255	937,790
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△414,255	937,790
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	412,902	432,218	2,943,914	△738,303	3,050,730
当期変動額					
剰余金の配当			△86,511		△86,511
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△415,810		△415,810
自己株式の取得				△16	△16
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△502,322	△16	△502,338
当期末残高	412,902	432,218	2,441,592	△738,320	2,548,392

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	35,612	1,382	36,994	-	3,087,724
当期変動額					
剰余金の配当					△86,511
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△415,810
自己株式の取得					△16
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,305	△2,749	1,555	12,252	13,808
当期変動額合計	4,305	△2,749	1,555	12,252	△488,529
当期末残高	39,917	△1,367	38,549	12,252	2,599,194

当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	412,902	432,218	2,441,592	△738,320	2,548,392
当期変動額					
剰余金の配当			△86,510		△86,510
親会社株主に帰属する当期純利益			921,016		921,016
自己株式の取得				△18	△18
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計			834,505	△18	834,487
当期末残高	412,902	432,218	3,276,097	△738,338	3,382,879

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	39,917	△1,367	38,549	12,252	2,599,194
当期変動額					
剰余金の配当					△86,510
親会社株主に帰属する当期純利益					921,016
自己株式の取得					△18
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	13,865	2,907	16,773	21,004	37,778
当期変動額合計	13,865	2,907	16,773	21,004	872,265
当期末残高	53,783	1,539	55,323	33,257	3,471,460

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△417,991	969,012
減価償却費	14,238	8,745
株式報酬費用	12,252	21,004
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,059	2,901
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,592	△2,554
貸倒引当金の増減額(△は減少)	114,604	△3,998
固定資産売却益	△744	-
構造改革費用	89,610	-
受取利息及び受取配当金	△40,558	△12,044
助成金収入	△11,740	-
支払利息	4,344	1,081
為替差損益(△は益)	176,771	△260,434
売上債権の増減額(△は増加)	△145,174	△365,725
たな卸資産の増減額(△は増加)	54,947	39,183
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△114,290	3,086
未払金の増減額(△は減少)	80,033	△41,891
前受金の増減額(△は減少)	△13,887	△20,104
長期未払金の増減額(△は減少)	-	△62,000
その他	△80,528	△101,536
小計	△270,459	174,725
利息及び配当金の受取額	45,868	10,203
利息の支払額	△4,498	△1,081
助成金の受取額	11,740	-
コミットメントライン関連費用の支払額	△7,975	△5,934
構造改革費用の支払額	△86,939	-
法人税等の支払額	△18,483	△20,868
法人税等の還付額	49,383	11,858
営業活動によるキャッシュ・フロー	△281,363	168,902
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,647	△1,106
有形固定資産の売却による収入	744	-
無形固定資産の取得による支出	-	△406,320
投資有価証券の取得による支出	-	△30,000
出資金の払込による支出	△15,675	-
差入保証金の回収による収入	62,383	8,386
差入保証金の差入による支出	△6,624	△796
投資活動によるキャッシュ・フロー	33,180	△429,836
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△1,350,000	△4,150,000
自己株式の取得による支出	△16	△18
配当金の支払額	△84,621	△86,833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,434,637	△4,236,851
現金及び現金同等物に係る換算差額	△179,350	261,495
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,862,171	△4,236,290
現金及び現金同等物の期首残高	8,070,248	6,208,076
現金及び現金同等物の期末残高	6,208,076	1,971,786

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 3社

連結子会社名

(株)ファイン

YUKE'S LA Inc.

ユークスミュージック(株)

2. 持分法の適用に関する事項

持分法を適用していない関連会社1社は、当期純損益および利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため持分法の適用範囲から除外しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

①有価証券

満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）によっております。

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等にもとづく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。

時価のないもの

移動平均法による原価法によっております。

②棚卸資産

仕掛品

個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下にもとづく簿価切り下げの方法）によっております。

商品

移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下にもとづく簿価切り下げの方法）によっております。

貯蔵品

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下にもとづく簿価切り下げの方法）によっております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

①有形固定資産

当社および国内連結子会社は定率法によっております。

在外連結子会社は定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物

8～15年

②無形固定資産

ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）にもとづく定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

②賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えて、支給見込額にもとづき計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

当社グループは、退職給付に係る負債および退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 重要な収益及び費用の計上基準

受注制作のソフトウェアに係る売上高及び売上原価の計上基準

① 当連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる受注契約  
進行基準（進捗率の見積りは原価比例法）

② その他の受注契約  
検収基準

(6) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、当連結会計年度末における直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産および負債は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益および費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定に含めて計上しております。

(7) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なり  
スクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(8) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

## 1. 製品およびサービスごとの情報

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	その他	合計
2,212,336	286,002	151,840	2,650,178

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

その他・・・・・・アジア

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
(株)ディースリー・パブリッシャー	414,000	デジタルコンテンツ事業
(株)SANKYO	300,972	デジタルコンテンツ事業
All Elite Wrestling, LLC	265,530	デジタルコンテンツ事業

当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)

1. 製品およびサービスごとの情報

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	その他	合計
2,117,179	1,309,422	205,884	3,632,485

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

その他・・・・・・アジア

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
All Elite Wrestling, LLC	1,305,643	デジタルコンテンツ事業
㈱SANKYO	292,448	デジタルコンテンツ事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)

該当事項はありません。



(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
1株当たり純資産額 299.03 円	1株当たり純資産額 397.43 円
1株当たり当期純損失金額 48.06 円	1株当たり当期純利益金額 106.46 円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	△415,810	921,016
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	△415,810	921,016
期中平均株式数(株)	8,651,106	8,651,086
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	

(重要な後発事象)

該当事項はありません。